

SAVE THE FILM ゼラチンシルバーセッション

2008年10月22日〔水〕—29日〔水〕

12:00→18:00 (最終日は17:00まで)
会期中無休 入場無料
会場:名古屋芸術大学アート&デザインセンター

本展は、デザイン学部デザイン学科メディア&コミュニケーションブロック メディアコミュニケーションデザイン選択コースの授業の一環として開催いたします。

フィルムを使用する「銀塩写真」は世界的なカメラのデジタル化により、市場規模が急速に縮小し、消滅しつつあります。それは銀塩写真でしか表現出来ない独特の風合いや、長い間培われてきた暗室作業等の手仕事、技術が失われる事でもあります。ミュージシャンが色々な楽器を奏で、画家が筆や絵の具を使い分けて多彩な表現が出来る様に、私たち写真家も表現手段の選択肢として次の世代の為にフィルムや印画紙を残していきたいのです。

写真家の視線を探る
コンタクトプリントとそこからセレクトしたプリントを展示。
時を経て残るもの
若い時に撮影した写真、子供の頃の写真、古いアルバムの1ページ等の展示。
写真家以外のゲスト参加
写真、詩、音楽、絵画、インスタレーション、写真家とのコラボレーション他を展示。

参加フォトグラファー

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 石塚元太良 | 辻 佐織 | 藤井 保 |
| 笠井剛示 | 泊 昭雄 | 藤塚光政 |
| 久家靖秀 | 中野正貴 | 本城直季 |
| 小林紀晴 | 蛭川実花 | 宮原夢画 |
| 小林伸一郎 | M.HASUI | 三好耕三 |
| 菅原一郎 | ハービー・山口 | 森本美絵 |
| 鋤田正義 | 平間 至 | 若木信吾 |
| 瀬尾浩司 | 広川泰士 | 山本哲也 |
| 瀧本幹也 | 広川智基 | (五十音順) |



- 参加ゲスト**
- | | |
|-------|---------------------------|
| 浅野忠信 | 幅 允孝 |
| 忌野清志郎 | HYSTERIC GLAMOUR X WATARU |
| UA | 深津絵里 |
| 大竹伸朗 | 森本千絵 |
| 坂本龍一 | 箭内道彦 |
| 佐治晴夫 | 吉田克幸 |
| 椎名林檎 | 吉永小百合 |
| 竹中直人 | (五十音順) |

主 催：ゼラチンシルバーセッション実行委員会
協 賛：(株)青山レンタル・(株)IMAGICA・加賀ハイテック(株)・コダック事業本部・KEICHU-exhibition・コダック(株)・ザ・ダークルーム・インターナショナル・サントリー(株)・ゼライス(株)・(株)大伸社・(有)東京カラー工業社・(株)東北新社・(株)ナショナルフォーエバー・(株)ニコン・富士フィルム(株)・富士フィルムイメーシング・富士フィルムイメージテック(株)・(株)堀内カラー・(株)ライトバプシティア(株)ラボ銀座・(有)優美レンタル
協 力：アクシスギャラリー-art project room ARTZONE・王子製紙(株)・(株)オムニバスジャパン・goen・(株)10BANスタジオ・東京都写真美術館・名古屋芸術大学・日本写真芸術専門学校・Lab TAKE
展示協力: キヤノンマーケティングジャパン(有)染め織り工房キュービック・P・G・I(株)フレームマン 認定:社団法人企業メセナ協議会

アート&デザインセンター
EXHIBITION SCHEDULE
10 → **12**
展覧会スケジュール
Open 12:00—18:00 (最終日は17:00まで)
12/24—2009.1/4夏期休館

- 9/11 〔 〕 → 9/17 〔 〕 ソフトマテリアル
9/19 〔 〕 → 9/30 〔 〕 2008年度企画 会田誠と美術大学学生たちのコラボレーションワーク MONUMENT FOR NOTHING II
10/ 3 〔 〕 → 10/ 8 〔 〕 デザインと文化『本』展
10/10 〔 〕 → 10/15 〔 〕 大学院洋画制作展 '08
10/17 〔 〕 → 10/20 〔 〕 AB展
10/22 〔 〕 → 10/29 〔 〕 ゼラチンシルバーセッション '08展
10/31 〔 〕 → 11/ 5 〔 〕 境界から見えるもの
11/ 7 〔 〕 → 11/12 〔 〕 中国からの風
11/14 〔 〕 → 11/19 〔 〕 幼稚園児たちのゲイジツ展
11/21 〔 〕 → 12/ 3 〔 〕 2008年度企画展 Drawing Encounter
12/12 〔 〕 → 12/17 〔 〕 工芸選択コース作品展
12/24 〔 〕 → 1/ 5 〔 〕 冬期休館

B!e

2008 Vol. 22
ART & DESIGN CENTER NEWS

2008年度企画展
会田誠と
美術大学学生たちのコラボレーションワーク

MONUMENT FOR NOTHING II

公開制作:2008年9月19日〔金〕—30日〔火〕
12:00—18:00 会期中無休
会場:名古屋芸術大学アート&デザインセンター
主 催:名古屋芸術大学アート&デザインセンター/美術学部
協 力:ミヅマアートギャラリー

なんにも考えないでただ作ろう。樂せず。
(2008会田誠「MONUMENT FOR NOTHING II」コンセプトシートより)

2008年度本学美術学部特別客員教授、会田誠氏と絵画科洋画コースの学生が中心となって作品「MONUMENT FOR NOTHING II」を制作していきます。制作には、一般からも参加していただけますので、興味のある方は会場までお越しください(制作への参加は、予約・申込不要です)。会期最終日には、会田誠氏によるアーティスト・トークも開催いたします。

MONUMENT FOR NOTHING II
一体何をつくるのか?という疑問は次のページ(コンセプトシート)を読んでいたいただければわかりますが、イメージとしては、『ゴシック教会の祭壇彫刻(半レリーフ状)』、すなわち「今どき流行らない荘厳美」と制作マテリアルとして選ばれた「ヘナチョコなダンボール」とのギャップを楽しみつつ、「全体は壮大、ディテールは面白い」ものを皆さんのコラボレーションでつくろうという計画です。この作品は、本学だけで完成させるのではなく、今後も制作を継続していく予定です。コンセプトシートにもありますように、皆さんと制作した作品は、会期終了後、会田氏個人の倉庫に保管され、最終的には美術館での展示も考えられています。



MONUMENT FOR NOTHING
2004
会場:ミヅマアートギャラリー、アクリル絵具、木ネジ
600×500cm
展示風景:「日本本々プロジェクト:日本美術の新しい展望2004」
金沢美術館、展示:2004
撮影:本島雄二
© Makoto AIDA
Courtesy Mizuma Art Gallery

関連企画:会田誠アーティスト・トーク
日時:2008年9月30日〔火〕13:30—16:00
会場:本学西キャンパスB棟大講義室
定員:50名(一般) ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます
お申し込みは、Eメールに、氏名・ふりがな・住所・電話番号・職業/大学・メールアドレスを明記の上、9/17までに event@nua.ac.jp までご送付ください。

じょうもんしかいじゅうのうんこ
2003
カラーシタック・ニス・ステーション
© Makoto AIDA
Courtesy Mizuma Art Gallery

新宿城
1995
段ボール、その他利用の組(PVA・シリカ)、ゴムテープ、糊剤用に木村
11200 cm
© Makoto AIDA
Courtesy Mizuma Art Gallery

編集後記
本号は、9月に開催します企画のため、特別編集とさせていただきます。このニュースレターが公開制作会場での配布資料(アーティストによるコンセプトシート)になります。

9月は、第3回となる横浜トリエンナーレ2008をはじめ、アジア各国で、ビエンナーレなど国際展が開催されます。観客として、あるいはボランティアとして参加される方も多いと思いますが、ご自身でも何か制作してみたいと思われた方は、是非アート&デザインセンターの公開制作にご参加ください。ひとりの制作者として楽しんでいただける「場」をご用意しています。

B!e Vol.22
発行日 2008年9月6日
編集 江坂恵里子(アート&デザインセンター)
発行 名古屋芸術大学アート&デザインセンター
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西65番地
Tel.0568-24-0325 Fax.0568-24-0326(代表)
Tel/Fax.0568-24-2897(直通)
E-mail adc@nua.ac.jp
URL http://www.nua.ac.jp
デザイン 岩田知人(サンメッセ株式会社)
印刷 サンメッセ株式会社
2008 Printed in Japan
© Art & Design Center, Nagoya University of Arts

最寄りの交通機関をご利用の場合
名鉄犬山線(地下鉄新線乗り入れ)
徳重-名古屋芸術大学西キャンパス 徒歩15分
※急行・準急電車の場合は西春駅で普通電車に乗り換えるか下車してください
中部国際空港からも名鉄犬山線をご利用ください
西春駅から北西約2,200m徒歩25分、西春駅からはタクシーの便もあります

自転車をご利用の場合
名神一宮インターから10分、名神小牧インターから15分。

大学基準協会認定マーク
本学は2006年4月に認定評価機関である大学基準協会の大学基準に適合と認定され、正会員になりました。
認定期間は2006年4月から2011年3月までです。
これによって法令化されている「第三者による認定評価」にも合格したことになります。

あいだまこと
会田誠 プロフィール
1965年 新潟県生まれ。
1991年 東京藝術大学大学院美術研究科修了。

絵画のみならず、写真、立体、パフォーマンス、インスタレーション、小説、漫画、都市計画、舞台美術を手掛けるなど表現領域は多岐にわたる。
近年の主なグループ展に「アートで候。会田誠 山口晃」展(上野の森美術館・東京 2007年)、「Laughing in a Foreign Language」展(ハイワードギャラリー・ロンドン 2008年)。

8月8日—9月15日ナディップギャラリー(東京)にてグループ展「昭和40年会の東京案内」。
9月3日—10月4日までミヅマアートギャラリーにて「ワイはミヅマの岩鬼じゃい!!」 会田誠展を開催。

Monument for Nothing II

民主主義(衆愚政治)時代には
相応しい
記念碑

Nothing II

復分はなんとか
新満載

全体主義的美学への愛憎?

全体は壮大、ディテールは面白い
古い美術作品の条件

荘厳美
流行らぬ

ゴシック教会の祭壇の彫刻(半レリーフ状)
最終的に高さ6m(現代美術館のホワイトキューブの平均)

美術は"現物"、これが最後のトリックかも。昔も今も。

18~19世紀以降
美術は「個」にならねど、集団、マスコミのとは? 共同の理想とか。

ゴシックより面白く。

リレードと、フリーゾス(即興演奏)の面白さ

面白さの純粋化(70年代以降)みないに...

クリス教でも仏教でも、説話もプロローグを知らなくとも楽しめる部分がある。むしろ知らぬ方がイマジネーションが広がることある。甚だしい、誤読の面白さ。

共有工の説話(作者不詳の作り話)がある。古の時代とない今の時代。(without都市伝説?)

強い照明もある
実色は造形
能夜。ダンテ

たいたい1987年~2008年の日本のパラレルワールド? 異界

現代日本を表現(記録)するのはP-421の義務
意味はまた、全体としてのテンセンス

時代精神を比喩的(面白く or 圧縮し or 大きに...etc)に表現

12世紀以降の人間、やめろ。オカシ上等?

意味はまた、全体としてのテンセンス

12世紀以降の人間、やめろ。オカシ上等?

統一令は どうして作るか けしかならぬ!!
意地でも千年残す! 俺はこの保存のため 倉庫を借りる覚悟だ(白腹)
出果事系P-421の7-7シヨ? 俺は? Y<S<S
美術は強してテンボ どのくらい時間差攻撃する...

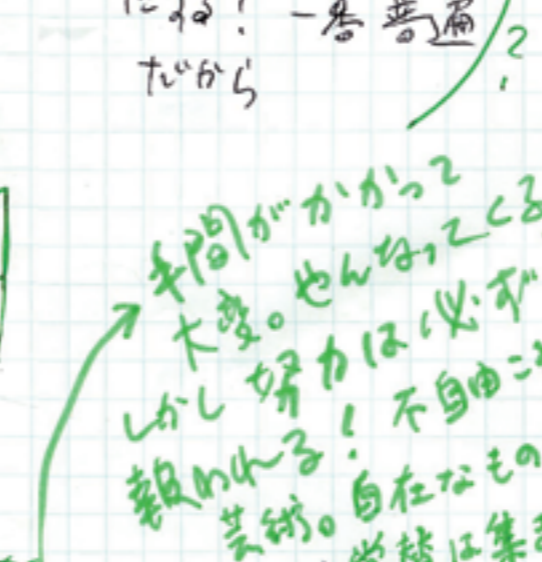
20世紀現代だから、ダマでいい。造形有理。
困った「3D」をテーマにする? 一番普通だから

共同がかかると大変。せんせいの親めちゃん! 不自由な自由なものは、芸術。賞賛は集まる

構造的に堅牢
基本的に曲面は使わない
多面体(石膏像の面取り)
固有な表現なし
あくまでも3D。凹凸の対決勝負
(完結はOK?)

強い照明もある
実色は造形
能夜。ダンテ
ルビウの素材
のハンカチから
る。わら、てい
たい下キウマ。

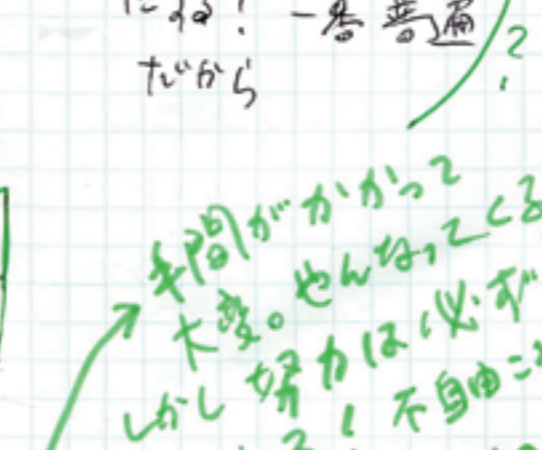
12世紀以降の人間、やめろ。オカシ上等?



- ① 勝手に作る
新作寓話団(個人作)
- ② 現代日本の俗物
(聖人からほど遠い) 一人
20人による人柱ノ作
- ③ 共同制作にする → 会田がコントロール?
複雑で大型の 寓話団 → ものE110ディ
化?
- ④ その他、装飾的なの。想像上の生き物? フォンテー
キア?

「構成主義」みたいな
"2D的3D"(?)は作るかい → 例
ダンボールの落さを見せたい

「構成主義」みたいな
"2D的3D"(?)は作るかい → 例
ダンボールの落さを見せたい



- ① 勝手に作る
新作寓話団(個人作)
- ② 現代日本の俗物
(聖人からほど遠い) 一人
20人による人柱ノ作
- ③ 共同制作にする → 会田がコントロール?
複雑で大型の 寓話団 → ものE110ディ
化?
- ④ その他、装飾的なの。想像上の生き物? フォンテー
キア?

「構成主義」みたいな
"2D的3D"(?)は作るかい → 例
ダンボールの落さを見せたい

「構成主義」みたいな
"2D的3D"(?)は作るかい → 例
ダンボールの落さを見せたい

12世紀以降の人間、やめろ。オカシ上等?